

## 「吹田市市民公益活動審議会」第85回会議 議事要録

開催日 令和6年（2024年）6月2日（日）午後1時～午後4時25分

場 所 市民公益活動センター ラコルタ 会議室

出席者

（1）委員（敬称略。50音順）

梅村 賢作、北本 恒雄、太刀掛 俊之、茂上 さつき、矢野 弘典、山本 保治、  
渡辺 裕美子

（2）事務局

中村市民部長、市民自治推進室 長井室長、田中参事、加樂主幹、田家主査、鶴岡主査、  
森本係員

市民公益活動センター（ラコルタ） 春貴センター長

会議の公開・非公開について

プレゼンテーション部分は公開

プレゼンテーション部分以外は非公開

補助金交付審査を行うため、下記に該当

「吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針」における

9 会議の公開

(2) 次のいずれかに該当するときは、会議を公開しないことができる。

ウ 会議を公開することにより会議の目的を失わせ、公正かつ円滑な運営に支障が生じると認められるとき。

議題

- 1 諮問書交付
- 2 令和6年度市民公益活動促進補助金交付審査
- 3 その他

配付資料

- (1) 交付審査スケジュール
- (2) 吹田市市民公益活動促進補助金交付申請書（写し）
- (3) 市民公益活動促進補助金申請団体に対する事前質問への回答
- (4) 市民公益活動促進補助金複数回数申請団体および申請事業一覧
- (5) 採点表
- (6) 市民公益活動促進補助金推薦順補助額一覧表

会長：ただ今から第85回吹田市市民公益活動審議会を開催します。

まず、1月24日付けで委員になられた北本委員が本日御出席ですので、一言お願いいたします。

北本委員：～挨拶～

会長：それでは本日の会議傍聴について事務局よりお願いいたします。

事務局：プレゼンテーションを除く部分につきましては、吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針第9項第2号ウの規定により、公正かつ円滑な運営のため、傍聴は認めないものとします。

会長：事務局の説明の通り取り扱うことにいたします。議題に入る前に、事務局から本日の説明をお願いします。

事務局：本日の審議会は、市民公益活動促進補助金のプレゼンテーション、並びにそれに関する交付審査をお願いします。本日出席委員につきましては7名で全審議会委員の半数以上の御出席をいただいていますので審議会として成立していることを御報告させていただきます。

会長：それでは議題に入ります。令和6年度吹田市市民活動促進補助金の交付審査について市長から諮問がございます。事務局から説明をお願いいたします。

事務局：諮問書について説明

会長：この件について何か御質問はありますか。

(質問なし)

会長：それでは、審査の方法について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局：審査方法について説明

審議会委員が応募団体の役員等になっている場合、審査の公平性を期すため、全審査から外れるものと規定いたしておりますが、該当される方は、申し出ていただけますでしょうか。

委員：(申し出なし)

会長：何か御質問等ございますか。

それでは、1時40分からプレゼンテーションを始めたいと思います。暫時休憩します。

会長：審議会を再開します。ただ今から、令和6年度吹田市市民公益活動促進補助金申請団体プレゼンテーションを始めます。進行は、事務局をお願いします。

事務局：司会進行

## 1 吹田の川をしらべ隊

～団体からの説明～

～質疑～

委員：採った魚やカニなどを展示していると伺いましたが、それ以外は逃がしているのですか。

団体：絶滅に瀕しているようなものでなく、普通に飼えるものは飼っています。かわいそうですが外来種は戻していません。

会長：子どもに色々と機会を提供することが多いかと思いますが、大人を含めてこれまでの活動や今後の予定をお聞かせください。

団体：年2回ガールスカウトさんと清掃活動をしています。水生生物の調査に関しては大人向けに、会った人に吹田の状況や、いいところを話しに来ていただいています。団体を立ち上げたばかりですので、博物館にお世話になったり、他の活動と結びついて活動をさせていただいたりしています。

委員：会費はその都度徴収すると会則に記載されていますが、会費については会則に明記した方がいいのではないかなと思うのですが。

団体：会則に金額を記載している団体が多いと思いますが、団体の現状を踏まえ、今後の活動にあわせてその都度徴収した方がいいのではないかと、と団体内で相談して、そのように記載しています。

委員：この活動を市民にどのような形でPRしていくのか、また会員の増加についての展望をお聞かせください。

団体：環境フェスタやまちなか水族館の関係で活動内容を報告したりしているので、吹田市民は調べようと思った場合、私たちの活動が分かる状態です。将来的にはホームページや冊子を作っていきたいと思っています。

会員数については、機会があれば活動させてくださいという方が多く、誘ったらどんどん増える状態です。50人に増やそうと思えば増やせますが、運営が大変なので20人程度までに抑えたいと思っています。

## 2 ORBITAL ACTION

～団体からの説明～

～質疑～

委員：貴団体の活動を見られた参加者の反応はどのようなものですか。

団体：現時点で反応までは分かりません。初めての挑戦で、相談しながら準備をすすめているところです。施設によって障がいの重度も異なるので、その都度内容を変えたりしていきたいと思っています。

委員：活動の対象が特定の施設に限られている感じを受けるのですが、吹田のどなたでも参加可能な活動、という理解をしてよろしいでしょうか。

団体：まず、当該施設が手を挙げてくださったので、その施設での活動の様子をSNS等で拡散することで他の施設にも活動が伝わり、今後他の施設にも活動を広げようと考えています。

委員：5回のワークショップは単発での参加も可能でしょうか。

団体：可能です。1回ごとの完結です。

委員：活動を広げていくためには団体の人員拡充も大切なことだと思いますが、どのようにお考えですか。

団体：今後、活動に賛同していただける方がどんどん会員として参加いただければ私たちもさらに世界観が広がるな、と思っております。

委員：ワークショップ等は各施設を訪問して実施されるのですか。

団体：今候補に挙がっている施設内には利用可能な部屋がないので近くの公共施設を借りて行う

予定です。各施設の状況に応じて同様に公共施設を借りることもあると思います。

委員：チラシは現に配付されていますか。

団体：今後、チラシを持って施設に御説明に上がっていきたいと考えています。

会長：団体名にはどういった想いが込められていますか。

団体：私たち自身はまず行動する、思い立ったら行動する、それがいろんな輪となって広がっていったら活動した意義が出てくる。また、参加者はこの活動に参加することによって、新しい世界観ができて、それが自分の中で何かが目覚めるとか希望が持てる、そして一步踏み出すというアクションに繋がっていく。そうした輪がどンドンどンドンこの吹田に広がっていったらいいな、という感じのORBITAL ACTION、私どものこれからの広がり広げ方、それから参加者もこれからそういうふうな軌道でアクションしていこうよというような意味が込められております。

### 3 高野台キャンドルナイト実行委員会

～団体からの説明～

～質疑～

委員：昨年一昨年も実施されていますが、参加者数の増減と今年の目標を教えてください。また、今回は紙コップに絵を描いてもらうように変更されるとのことですが、その計画について教えてください。

団体：昨年度の参加者数は延べ 250 人程度、初年度は数えていませんでしたが、昨年と大きな差はないように思っています。

入れ替わりが激しいこの地域において、新しい繋がりを作っていくということが一つの目的ですが、この活動を始め以前からこの近辺で開催してきたコミュニティカフェ的なもの等で作ってきた人脈やSNSを使って、キャンドルナイトのイベントに、当日だけではなく、新たに企画段階から参加いただける方がいらっしゃって欲しいと期待しています。このイベントをきっかけとしていろいろ地域の方が新しい繋がりを持ってまた別の活動をしていただくのが一番望ましいのではないかと考えております。

次に何か新しいことを考えてみたときに、紙コップに絵を書いてもらうことによって、自分の書いた紙コップが並んでいるというので、参加者が増えてくるのではないかと考えております。方法についてはまだ検討中であり、近隣の小学校や幼稚園にお願いするというのもあるかもしれませんが、昨今言われているように新しいイベントが入ってくると先生方の負担になるので、書いてもらうこと自体をイベントとしてできればいいなと思っております。ただ、そうした場合ペンを用意しなければいけない等様々な予算もかかることですので、今後検討していきたいと思っています。

委員：地域に必要とされる行事であればなおのこと、継続性がとても大事だと思うのですが、経済的に継続して自立していくために検討されていることはありますか。

団体：その点は模索しているところです。スポンサーについてもらったり、ポスターやチラシに提供を入れてもらえたりできればいいなと思っておりますが、まずこのイベントを知っていただかな

いと協力していただくこともできないと思うので、しばらくは補助金や自分たちの持ち出しや寄附などでやっていくしかないのかなと思っています。

会長：昨年度ツリーをシルバー人材センターの方に作っていただくという計画だったと思いますが、今回ツリーについてこうしたい、あるいは地域の方に楽しんでいただけるようなことなど、より参加者が増えるよう工夫されることはありますか。

団体：ツリーは、昨年度はシルバー人材センターの方に作っていただくことを考え図面を作成してみました。作ってもらうのはかなり難しそうなことが分かり結局購入しました。一つだけだと見栄えがしないので、同じものを購入したいと考えています。

委員：チラシはどちらの方に配布されますか。

団体：昨年度は1つの小学校と1つの幼稚園及び、千里ニュータウンプラザに置かせていただきました。今年も同様に考えていますが、もう少し配ったり置いたりできる場所があればお願いしたいと考えています。

委員：自治会の方に対してイベントを周知する予定はありますか。

団体：昨年度も自治会の方にチラシを持参してお話しはしています。

#### 4 社会の中で共に生きる会あゆみ

～団体からの説明～

～質疑～

委員：すばらしい活動をされていると思いますが、必要な方のところにまだ届いていないところもあると思います。外には出られないけれどもオンラインだったら参加出来そう、という方の為にもハイブリッド形式などは考えておられませんか。

団体：ハイブリッドな形で、Zoomなどで出来ればと思いますが、言葉一つ一つが非常に微妙な部分もあるので、そうした部分のフォローの仕方、それから全員がスマートフォンやパソコンを持っておられるのか、ネット環境があるのかなども考えていけないかなと思います。

事務局：他に特になければこれをもちまして、令和6年度の市民公益活動促進補助金プレゼンテーションを終了させていただきます。

～交付審査～

会長：審議会を再開します。事務局から説明を受けます。

事務局：審査資料の説明

会長：それでは推薦順位の順番に、個々に審議をしていきたいと思います。

会長：まず団体①について何か御意見はありますか。

(主な意見)

- ・活動の成果を広く吹田市民に伝えることを期待したい。
- ・仮に会費を3,000円支払い、仮に活動が3回だったとすると人件費が会費と同額が支払われ

るという仕組みの是非

- ・活動に参加を希望する人が多いという説明であったが、そうであれば人件費や旅費ではなく、他にお金を回す等が出来るのではないか。

会長：それでは、申請どおり 100,000 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし。

会長：そのように決定します。

会長：次に団体②について何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・団体の構成人数がごく少人数で、当初の対象も限られていることから、今後の活動の広がりについて見守っていきたい。
- ・SNS 宣伝広告費や映像制作費が高額ではないか。

会長：それでは、申請どおり 100,000 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし。

会長：そのように決定します。

会長：次に団体③について何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・今後も持続的に活動をしていただくために、資金面やスタッフの確保、他団体との連携等に取組んでいただきたい。
- ・オンライン等を活用することで活動に広がり期待できるのではないか。

会長：それでは、申請どおり 3,150 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体④について何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・新旧住民の交流や活動の活性化や経済的自立には、地元の自治会等との協働を深められるかどうか鍵になるのではないか。
- ・昨年度に引続き今年度も購入を予定されているツリーの効果について

会長：それでは、申請どおり 100,000 円を 交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし。

会長：そのように決定します。

会長：それではこれで令和6年度吹田市市民公益活動促進補助金の審査を終わります。

これをもちまして第85回吹田市市民公益活動審議会を閉会いたします。本日の会議で今期の審議会は終了となります。皆様、大変お疲れ様でした。